教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
地理歴史	世界史B	3年国際科	H S 4 単位		グローバルワイド最新世界史 図表 (第一学習社)

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

A 関心・意欲・態度	B思考·判断·表現	C 資料活用の技能	D 知識 · 理解
世界の歴史に対す	現代世界の諸課題	世界の歴史に関す	世界の歴史につい
る関心と課題意識	を歴史的観点から	る諸資料を収集し	ての基本的な事柄
を高め、意欲的に	考察し、国際社会	、有用な情報を選	を、地理的条件や
追究するとともに	の変化を踏まえ公	択して、読み取っ	日本の歴史と関連
、国際社会に主体	正に判断して、そ	たり図表などにま	付けながら理解し
的に生き国家・社	の過程や結果を適	とめたりしている	、その知識を身に
会を形成する日本	切に表現している	0	つけている。
国民としての責務			
を果たそうとして			
いる。			
	世るを追、的会国を関係とに体社本務でを追いとに関係とになるのとに関係とに家るのとの心めす際生形とたる社き成しそのととなります。	世界の観点に 中期の観画路にに 大世史しに題欲ととの では題欲とになり では題欲とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、る社とになり では、ないした。 の心の会別には のの会別には のの会別には のの会別には のの会別には のの会別には のの会別には ののの会別には ののの会別には ののの会別に ののの会別に ののの会別に ののの会別に ののの会別に ののの会別に ののの会別に のののののの。 ののののののの。 のののののののののの。 のののののののの	世界の歴史に対す 現代世界の離諸課題 世界の歴史を関集を関係を開題の はいれば を 関係 は は と は と は と は と は と は と は に 生 き は と は に 生 き は ま ま し に と は は な は に と は な と は な は に と は な な は に と は な な は に と は な な は は な は な な は な は な は な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な な は な な な は な な な は な な な は な な な な は な

単元	学習内容	到達目標
	序章先史の世界	・自然環境と人類の関わり、日本の歴史と世界の歴史のながりる適切ないわる適切なま題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。
第Ⅰ部	序章 文明のはじまり 第 1 章オリエントと地中海世界 第 2 章アジア・アメリカの古代文明	・人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。
7/4 7 ##	第3章内陸アジア世界・東アジア世界の形成	
	第4章イスラーム世界の形成と発展第5章ョーロッパ世界の形成と発展	・ユーラシアの海域及び内陸のネット ワークを背景に、諸地域世界の交流が 一段と活発化し、新たな地域世界の形 成や再編を促したことを把握させる。
第Ⅲ部	第6章内陸アジア世界・東アジア世界の展開	

			第	7	章	ア	ジ	ア	諸	地	堿	の	繁	栄						・アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を
			第	8	章	近	世	3	_	ㅁ	ッ	パ	世	界	の	形	成	;		背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整
			第	9	章	近	世	3	_	П	ッ	パ	世	界	の	展	開			え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会
第	Ш	部		10 成	-	近	代	9	_	П	ツ	パ	•	ア	メ	IJ	カ	世	界	の変容が促されたことを理解させる。
			第発		章	欧	米	に	お	け	る	近	代	国	民	国	家	: の	•	
			第	1 2	章	ア	ジ	ア	諸	地	堿	の	動	揺						
			第	1 3	章	帝	国	主	義	٤	ア	ジ	ア	の	民	族	運	動	ı	・科学技術の発達や生産力の著しい発
			第	1 4	章	=	つ	Ø	世	界	大	戦								展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互
			第	1 5	章	冷	戦	と	第	Ξ	世	界	の	独	立					依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世
第	IV	部	第	1 6	章	現	在	Ø	世	界										界について展望させる。